

平成27年2月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成27年2月17日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	15時07分	
3 出席委員	委員長	曾田佳代子	
	委員	奥津晋	
	委員	塩田澄子	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡辺和夫	教育次長	植田朋哉
統括審議監(企画調整担当)	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
審議監(生涯学習担当)	山口啓二	審議監(保健体育担当) (保健体育課長事務取扱)	長畑智
教育企画総務課長	長瀬尚樹	人事財務課長	荻野拓志
指導課長	堀井博司	指導課教育支援担当課長	山崎克磨
生涯学習課長	安友公夫	スポーツ振興課課長補佐	山田浩範
スポーツ振興課主査	遠藤毅	スポーツ振興課スポーツ誘致推進室室長	藤井健介
こども企画総務課次世代育成室室長補佐	中吉浩一郎	審議監(こども園推進課長事務取扱)	景山泰
保育園・幼稚園課課長補佐	高原秀樹		
事務局(教育企画総務課課長代理)	赤野政治	事務局(教育企画総務課副主査)	黒住亜紀子
5 議題及び結果			
報告第5号	専決処理の報告(平成27年度岡山市一般会計予算案(教育委員会分)への同意について)	承認	承認
報告第6号	専決処理の報告(平成27年度岡山市一般会計予算案(岡山っ子育成局分)への同意について)	承認	承認
報告第7号	専決処理の報告(平成27年度岡山市一般会計予算案(スポーツ振興課分)への同意について)	承認	承認
報告第8号	専決処理の報告(平成27年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計予算案への同意について)	承認	承認
報告第9号	専決処理の報告(岡山市立認定こども園条例の原案への同意について)	承認	承認

報告第 10 号	て) 専決処理の報告(岡山市教育に関する事務の職務権限の特例に関する 条例案に対する意見について)	承認
6 教育長等の報告 [平成27年1月10日(土)～平成27年2月6日(金)]		
1/11	新成人の集い	こども企画総務課
1/11	岡山市クロスカントリー大会	スポーツ振興課
1/12	子ども会新春かるたとり大会	こども企画総務課
1/14	いきいき学校園づくり	指導課
1/15	岡山っ子育成条例推進会議	教育企画総務課
1/16	いきいき学校園づくり	指導課
1/19	いきいき学校園づくり	指導課
1/21	いきいき学校園づくり	指導課
1/22	いきいき学校園づくり	指導課
1/23	いきいき学校園づくり	指導課
1/28	教育委員行政視察	教育企画総務課
1/30	こらぼミーティング(学校給食週間中の学校訪問)	保健体育課
2/1	家庭教育支援事業「子そだておうえんハッピータイム」	生涯学習課
2/4	岡山市どろんこ教育賞表彰式	指導課
2/4～5	こころの劇場	指導課
塩田委員 こども企画総務課室長補佐	○ 新成人の集いについて、成果と課題を説明願いたい。 ○ 成果は、新成人が過去にないほど大勢ドームの中に入ったということ。しかし、中に入った分、騒がしくなり市長の激励の言葉の中でも2度ほど「静かに」という言葉があった。たくさん入ったということは局として課題にしていたので良かったが、今後どうやって静かに、そしてメリハリをつけるか。新成人の集いは、実行委員が企画等を自分達で考えているが、式典とこの企画等のメリハリが今後でもできるような方向で引っ張っていきたいと思っている。	
教育長	○ 人がたくさん入ったことはいいことだと思う。しかし入ってからの誘導の仕方とか、椅子の準備などはどうだったのか。いくら声は届いているだろうが、来年度に向けて同じようにしていくということにはならないだろう。式典という中で参加者に聞ける態勢というか、入れるのは良かったが他の準備は良くなかったのではないかと。また、外の店の時間についても課題があったと聞いているのだが。	
こども企画総務課室長補佐	○ 本年度は中に入れるということを目標にしていた。今まで新成人の集合場所は各中学校区ごとにして外に設定していたが、そこから動かないということがあったため、今年度は中に設定した。椅子の塊の間隔を広めに取り立ち見でも良いという感じにし、式典も立ったままでということも考えていた。そのため昨年よりも椅子の数は300程少ない状態で始まり、中には入ったがやはり前の方には座らず後ろの方はかなり溜まるということになった。教育長が言われたようにどのようにするのかというのは課題になってくる。外でも屋台をしていたが時間的には昨年度までとあまり変わらず、婦人会などがご厚意でうどんなどをしてくださったりしたが、なかなか売れなかったということがあり、少し時間を延ばして販売したということがあった。	
委員長 こども企画総務課室長補佐	○ 実行委員の反応はどうだったか。 ○ 実行委員は今年は15名と例年になく少なかったが、その中でも皆忙しくなかなか出て来られなかった。式後に実行委員会を開き、報告集や市民ホールでの展示のことも含め、今後どのようにしていくかなどを反省する中で、静かにさせるにはどうしたらいいかということも検討課題として議題にあげている状況である。	
委員長	○ 年々いろんな工夫がなされて少しずつ改善されているのだろうが、市長が挨拶の中で、したいことがあるのとしなければいけないことがあったら、しなければいけないことを優先しなさいという呼びかけをしていた。市長のメールマガジン	

<p>奥津委員 生涯学習課長</p>	<p>でも、かなり問題提起をしていたので、そのあたりを次回の実行委員会に生かしてもらえればと思う。ただ、場所の選定については、参加者の中でも本当にここでそういう状態になるんだらうかということをし少し危惧していたが、他に行くところもないという声もあったので、そのようなところも含めて検討の余地があるかと思う。</p> <p>○ 「子そだておうえんハッピータイム」の概要と参加者の声について説明願いたい。</p>
<p>奥津委員 生涯学習課長</p>	<p>○ 昨年度、家庭の教育力の向上に向けてという事業を立ち上げた。その中で、直接保護者に働きかけるということで、以前示したリーフレットを幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者へ配付した。さらに、地域全体、各種団体が連携をして全ての保護者を支援することが必要であるとなった。それを受けて今回、23団体、22のNPOのブースを設けて、そこで子育て支援に関するいろんな事業内容などを自由に相談できる場所を設けた。さらには各ブースごとに自分たちがどのような事業をしているのかを示し、各種団体の連携も図ってもらうような時間もとった。600人の方が来たが、保護者の方もいろいろブースを回って日頃相談したいことをこんなにたくさん相談できる場所があるんだなということを実感してもらえたと考えている。</p> <p>○ 参加者の声はどうだったか。</p>
<p>委員長</p>	<p>○ 県外から嫁いで来た方から、既に子どもは大きくなったが、来たばかりの頃はどこへ相談したらよいか分からなかった。こんな良いフェアが当時あれば自分も助かったのにとという声があった。他には、近頃は教育委員会など行政も相談先をペーパーへ上手に書いてあるが、実際相談しようとするとなかなか行動へは移れない。このようなフェアがあると気軽に相談しやすい。一度相談すると、次回からは相談しやすくなるという声もあった。参加者については、幼稚園、保育園の方が比較的多く、小学生がその次、その次が中学生の保護者。次回開催する時には小学校、中学校の保護者の方にも多く参加してもらえるような工夫をしてほしいという意見があった。ボランティアに関しては大学生が30名弱、婦人会が4名参加した。大学生の爽やかな様子を見て、自分の子どももあんな風に育ててはいけなさと実感できたという意見もあった。</p> <p>○ これに関連して、まだ決定ではないだろうが、保護者向けの啓発を紙ベースだけではなく計画もあるようなので、タイアップしてほしい。先ほど各種団体との連携とあったが、フェアも紙ベースも他のものも、教育委員会内の各セクションで同じ情報を違う形で流しても、受け取るのは保護者なのでうまくみ合わせてほしい。</p>
<p>塩田委員 生涯学習課長</p>	<p>○ これに関連して、どのくらいの年齢層を対象としたのか、広報はどのように行ったのかを説明願いたい。</p> <p>○ 幼稚園、保育園、小学校、中学校の保護者を対象とした。チラシを8万枚以上印刷して、学校経由で各家庭へ渡した。多くの方へ見てもらえるように努力した。</p>
<p>教育長 指導課長</p>	<p>○ 「こころの劇場」は劇団四季のものか。この6年生が67校というのはどういう意味か。</p> <p>○ こころの劇場は毎年行っている劇団四季によるミュージカルで、6年生を対象に希望校を募ってするものである。今年度は67校から参加希望があり、67校全てが2月4日の午後、5日の午前、午後の3公演の中で見た。</p>
<p>教育長 指導課長 委員長</p>	<p>○ 67校全ての6年生が参加したということか。</p> <p>○ 参加した。</p> <p>○ 1,700人かける3回くらいか。</p>
<p>指導課長 委員長 指導課長 教育長</p>	<p>○ そこまではいかない。</p> <p>○ 一回の公演が満席ではないのだな。</p> <p>○ ほぼ満席に近い。</p> <p>○ 5,000人くらいかもしれない。</p> <p>○ 劇団四季なので流石という感じで、子どもたちも静かに、拍手をするところは拍手をする、歓声が上がるところは歓声が上がるとい感じで、いいものを見せてもらった。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 確かに四季という劇団は芸術性の優れたものであろうし、優れた舞台であろう</p>

<p>奥津委員 指導課長 奥津委員 指導課長</p> <p>委員長</p> <p>教育長 塩田委員 教育長</p> <p>指導課長</p> <p>委員長 指導課長 委員長 指導課長 委員長</p>	<p>と思う。これをずっとしてくれていたが、67校も行っていただけとは知らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 希望をとって希望者だけということか。 ○ 学校の希望をとって6年生だけということ。今年度は67校が希望してきた。 ○ 都合で行けないという学校もあったのか。 ○ そうだ。場所が市民会館なので、そこまで出てくるということとか、日程的なこととかで駄目だという学校もあったようだ。 ○ 四季だからチケットが取りにくいミュージカルであろうに、それをしてくれるとは。 ○ しかも無料でしてくれる。 ○ 四季が無料なのか。 ○ 四季が、全部無料でしてくれる。お金を取る訳ではない。こちらの負担はバス代だけか。 ○ 市民会館の会場使用料はこちらが予算計上している。企業が協賛してこちらの劇場と名付けて、全国の子どもたちにこういう一流のミュージカルを見せて回るというのに参加をしている。 ○ 教育課程上は、小学校はどういう時間で動いているのか。 ○ 基本的には学校行事等に位置付けている。 ○ 土曜授業ではないのか。 ○ 違う。 ○ 保護者のある方の声で、ぜひ生の音楽を聞かせてほしいというのを聞いた。教育委員会の方で、バスの借り上げ料とかプロの演奏家を招く費用を取ってもらえたら心を育てるのによいのではないかという声を聞いた。これも昔の良いものにふれる催しのような援助だろうから根っ子は同じと思う。
<p>7 議事の概要</p>	
<p>委員長 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長</p> <p>委員長</p> <p>全委員 委員長 委員長 人事財務課長 委員長 塩田委員</p> <p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月定例岡山市教育委員会を開催する。 ○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。 ○ <承認> ○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。 ○ <承認> ○ 日程第2、1月定例会の議事録に問題はないか。 ○ <承認> ○ 日程第3、教育長等の報告、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載) ○ 議事に入る前に会議の公開・非公開について諮る。 日程第5の第3号議案があるが、附属機関等の委員の任免に関する事項として、会議規則第9条第1項第2号に該当するため、非公開としたいが、よいか。 ○ <承認> ○ それでは、日程第5の第3号議案は、非公開とする。 ○ 日程第4、報告議案について説明願う。 ○ 説明(報告第5号の資料に沿って説明) ○ 質問、意見はないか。 ○ 2、3番は新規事業とのことだが、人的支援はすごく大きいと思う。実際行うことによってどのくらい先生が子どもと向き合う時間ができたのかということ、この一年間で検証してほしい。 ○ 塩田委員が言ったのは2番の学校業務アシスト事業と思うが、次の部活動サポート事業は地元新聞も書いていたが、岡山市は全校にこれが行くというのをクローズアップして、モデル事業ではないということが目立つとよいと思う。目立つのは現場が安心するというか、少しでも子どもと向き合う時間を増やそうと努力できる。全校に予算がいくというのは大きいと思うので、ぜひ教育委員会の方が予算の説明とか学校におろす時にアピールしてあげてほしい。もちろんモデル事業で検証して、増やすこと広げることも必要だと思う。とりあえず、今年の4月か

教育長	<p>ら全校に行くということでのよいのか。</p> <p>○ そうだ。学校規模によって行く時間は変わってくるが、全校で使用していく。ただ、行く時間は1校あたり5～25時間であるから、6クラスあったとして1学期1時間程度ということもあるかもしれない。いかに学校として何の時間に当てていくか、子どもと向き合う時間の何に当てていくのか、そこを一番問わないといけない。そこは管理職を中心として学校として取り組む方向性はみんなで共通理解を図っていきながら、その時間を有効に使っていくということにしてもらいたい。今はまだ予算がはっきり認められているわけではないが、学校にはこういうことをするというのを伝え、4月になって慌てないように準備だけはしてもらっている。</p>
塩田委員	<p>○ こういう予算がつくと子どもに向き合う時間が増えるのかなと、保護者の方は期待感があると思うので、ぜひそれに沿えるような形の運営をしてもらいたい。</p>
奥津委員	<p>○ 教育総務費の3億円増加は、県費負担が市にくるからか。どういうことを新たに見直す必要があるのか。</p>
審議監(学校教育担当)	<p>○ 政令市になる時にいくらシステム上の手入れをしたが、全部市になるとなれば県から切り離して自前で持たなければいけないシステムもある。そういったものの研究をすすめている。</p>
奥津委員	<p>○ 全般的な管理か。給与か。</p>
審議監(学校教育担当)	<p>○ 今は県のシステムを使ってやっているという状況。それを借りればいいのではないかという話もあるが、そうもいかない状況である。</p>
教育長	<p>○ 大きくは給与のこともある。全職員のデータとともに、整理していかないといけない。</p>
奥津委員	<p>○ 来るのはお金だけか。</p>
教育長	<p>○ お金が変わるということは、先生方の定数管理も変わる。今は県がしているが、市が考えていかないといけない。一番大きいのはそこである。</p>
奥津委員	<p>○ システムは作り変えるのか。</p>
教育長	<p>○ 事務として準備をしておかないといけない。</p>
審議監(学校教育担当)	<p>○ 県費教職員の人事権は平成21年度から来た。実際来たのは誰をどうするかということで、何人というのとは来ていなかった。これが来る。教員の定数という教育長が言ったのはこのことで、定数を何人にするのかはこちらの権限になってくる。合わせて学級数のことであるとか、学校を設置するかしないかとか特別支援学級を増やすか増やさないかとかという判断も市の教育委員会で独自にやっていかないといけない。権限もやってくるが、その分責任もやってくる。</p>
奥津委員	<p>○ お金を増やさないといけない、どこに使うのかということの説明願いたい。コンピュータのことか。</p>
審議監(学校教育担当)	<p>○ 支払のシステムとか、そういう事務的なところになる。</p>
奥津委員	<p>○ 権限が変わって、やるが増えるというのは分かる。</p>
審議監(学校教育担当)	<p>○ 人件費ということになると、そのくらいでは済まない。市の予算全体の中では8.数%というものだが、人件費を負担することになるとかなりのものになる。県でいうと、県は人件費がかなり多くを占めているが、そのほとんどが小中学校の教員の人件費である。そこまで大きくはならなくても、結構なものになる。</p>
教育長	<p>○ ここに平成27年度は244億とあるが、人件費だけでははるかに超えることになるだろう。</p>
統括審議監	<p>○ 平成24年の決算ベースで県の試算で300億、岡山市の教育予算が244億なので人件費はそれを超える額になる。必要な額については、国庫補助金と住民税の財源移譲と地方交付税で賄われることになる。</p>
委員長	<p>○ よく比較される教育費が全体の何%という言い方をするときに平成29年度からは見かけは大きくなるということか。</p>
統括審議監	<p>○ そうだ。ただ、政令市の実態を比べた場合、土俵が違う。政令市だけ、ここで人件費が完全に来るが、それ以外の自治体は来ないので、パーセンテージは政令市は倍以上にどこも増える。</p>
委員長	<p>○ 今回は事務的なことで出ているが、実際には定数管理であるとかノウハウなどが</p>

審議監(学校教育担当)	必要になってくるということか。
委員長	○ ノウハウは今とあまり変わらないところもある。入力とかは実際こちらでやっているの、案外多いようで少ないかもしれない。
審議監(学校教育担当)	○ 学校現場からのいろいろな要望の時に、今は最終判断は県ということもあるだろうが、今度からは最終判断は任せるわけにはいかないということか。
委員長	○ 決定までに市教委、県教委という段階を踏んでいたのが、市教委でとどまるので当然スピーディーにならないといけないと思うし、検討に時間をかけられるという面もある。
委員長	○ 政令市なので、独自の考え方ができてくるということであまり活用したいものだ。希望だが、こういうのを市民へ見せる時に、県は歳入歳出を一人頭で比較していた。教育委員会予算の今年度重点事業とか毎年しているものも含めて分かりやすいような数字とか言葉だけではないものがあれば理解がしやすいと思う。今後広報するときなどに少し考えてほしいと思う。
委員長	○ 報告第5号を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第5号を承認する。
委員長	○ 日程第4、報告第6号を報告願う。
子ども企画総務課室長補佐	○ 説明(報告第6号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
教育長	○ これは耐震関係だけか。増額したものや新たなものはないのか。
子ども企画総務課室長補佐	○ 主なものはこれだけである。
委員長	○ 社会教育費の次世代育成というのは具体的に何か。少年自然の家とする事業の人件費か、子ども企画総務課の中の職員の人件費か。
子ども企画総務課室長補佐	○ 岡山っ子育成局の職員の人件費である。
委員長	○ 次世代育成体験活動促進事業はどこ活動か。
子ども企画総務課室長補佐	○ 子ども企画総務課で企画している事業である。具体的に言うとイングリッシュビレッジやわくわくこどもまつり、防災キャンプなど生涯学習課でやっていた事業である。
委員長	○ 報告第6号を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第6号を承認する。
委員長	○ 日程第4、報告第7号を報告願う。
スポーツ振興課課長補佐	○ 説明(報告第7号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
奥津委員	○ 前回、体育協会の法人化の説明を受けたが、この3千5百というのは今回新たにかかるものということか
スポーツ振興課課長補佐	○ 3,520万円は法人化に向けて、平成27年度新たにかかる経費である。
奥津委員	○ 今まではたしか助成金か何かがあったと思うが。
スポーツ振興課課長補佐	○ 補助金は継続して支出している。
奥津委員	○ あと、7千万弱くらいの増額があるがこれは何か。
スポーツ振興課課長補佐	○ まず、マラソン事務局人件費。7名ほどマラソン事務局に人をつけている。それから、新たにスポーツ誘致推進室に4名。計11名の職員人件費がプラスされている。別途、学校施設で防球ネット等の修繕費に約8百万が増額になっている。大きくいうとその辺りが前年より増額になっている。
委員長	○ 今ここに書いているのは新規、重点ということだが、新規は2番と3番で、おかやまマラソンは昨年もあったと思うが。
スポーツ振興課課長補佐	○ 重点であるということ。
委員長	○ その区別がしてあれば分かりやすい。インターハイと法人化は新規のものが上がっていると考えてよいか。
スポーツ振興課課長補佐	○ インターハイは平成26年度に120万あげているので、増額が379万5千となる。
委員長	○ 重点ということか。
スポーツ振興課課長補佐	○ そうだ。

塩田委員	○ 2億円の増額ということだが、おかやまマラソンと体育協会の法人化はこれからも必要な経費として計上されていくということか。
スポーツ振興課課長補佐	○ 体育協会の法人化の3千万については、法人設立のための出損金であるため、1回限りになる。インターハイはもちろん持ち回りなので平成28年に開催したらしばらく回ってこない。マラソンについては毎年11月の第2日曜日に開催すると決定したので、毎年経費計上することになる。
塩田委員	○ 高校総体だが、開催競技の機運醸成経費というのは具体的にどのようなものか。
スポーツ振興課課長補佐	○ 簡単に言うとPRに関する経費である。のぼりやポスター、啓発グッズを作ったりすることになるが、まだ具体的にこれとこれをというのは決まっていない。
委員長	○ しっかり啓発してほしい。いずれにしても、来年度は市長部局に移管しているから、こういう説明もなくなるのか。
スポーツ振興課課長補佐	○ 条例改正となれば、市長部局単独の事務になる。
委員長	○ 報告第7号を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第7号を承認する。
委員長	○ 日程第4、報告第8号を報告願う。
審議監(保健体育担当)	○ 説明(報告第8号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
塩田委員	○ 共済への加入率は。
審議監(保健体育担当)	○ 少しずつ減ってきている。本年度が72.5%、来年度が72%の見込である。
委員長	○ 加入率アップは担当課も努力していると思う。全国的にはどのくらいしているのか。
審議監(保健体育担当)	○ 全国では3市しかしていない。
委員長	○ それはどこか。
審議監(保健体育担当)	○ 岡山と松戸、川口である。
委員長	○ いい制度だと思うが、加入が増えないのはどうしてだろうか。
審議監(保健体育担当)	○ 他の保険制度が充実してきている。重複して支払うことはできるが、そちらに入っていればこちらには、ということではないかと思っている。
委員長	○ 民間の制度も充実してきているが、300円というのは安いと思う。
塩田委員	○ 以前説明を聞いた時、手厚い制度だなと思ったので、そういうことを強調すれば入る方も多いかなと思うが、先生たちの手間を考えるとどうなのかとも思う。
教育長	○ 集金は最初だけなので、後は事務局の方で請求したり支払ったりしている。
委員長	○ 奥津委員はPTAの立場からはどうか。入りたいか。
奥津委員	○ 300円なので入っていると思う。新年度の時にまとめてとか。
教育長	○ 外で遊んでけがをして病院に5日かかったら、万の位に行くかもしれない。それが300円。
塩田委員	○ その話をすれば加入したいという人が増えるかもしれない。手厚さを知らないのではないか。
教育長	○ パンフレットでは知らせていると思う。
審議監(保健体育担当)	○ 広報は、6月、10月の加入期間に広報し、3月には請求のし忘れはないかを確認する。2月は新入学児童用のチラシを配布。4月、9月、1月には市民のひろばへ掲載している。
教育長	○ これだけして伸びないのは、先ほどの理由が大きいのかと思う。
委員長	○ 今回は当初予算の論議の場であるが、事務事業の在り方についてもいずれ議論しなくてはいけないかもしれない。これは、手厚い災害保険なので活用してほしい。
委員長	○ 報告第8号を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第8号を承認する。
委員長	○ 日程第4、報告第9号を報告願う。
審議監(こども園推進課長事務取扱)	○ 説明(報告第9号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
塩田委員	○ 入園希望者について、希望するところに入れたりするのか。

審議監(こども園推進課長事務取扱)	○ 認定こども園では3歳児教育を新たに始める園が二つほどある。3歳児教育はクラス20名となっているのでここについては抽選となっている。その他については中心部以外に認定こども園が分布しており、保育園部分についてはほぼ入れると思う。
奥津委員 審議監(こども園推進課長事務取扱)	○ 条例自体は岡山市立の認定こども園のものになるのか。 ○ そうだ。今回は協議会でご説明した条例について専決処理をし報告した。
奥津委員 審議監(こども園推進課長事務取扱)	○ この後、私立の保育園がこども園になるような場合は、どうなるのか。 ○ 岡山市立の施設ではないので条例で新たに定めるということはないが、国の新たな子ども・子育て支援新制度では、認定こども園には4つのパターンがあり、その基準に沿った形で運用していく。それに対して国県市から今までの運営費にあたる部分を給付することになる。岡山市とのかかわりは当然あるが、私立の認定こども園の設置条例を制定することはない。
委員長 全委員 委員長 委員長 教育企画総務課長 委員長 委員長	○ 報告第9号を承認してよいか。 ○ <承認> ○ 報告第9号を承認する。 ○ 日程第4、報告第10号を報告願う。 ○ 説明(報告第10号の資料に沿って説明) ○ 質問、意見はないか。 ○ 日付について、議会から聞かれた同じ日に回答を行っているのは、やはり同日がよいのか。
教育企画総務課長	○ 決裁がたまたま早くまわって、同日に処理が済んだということ。十分審議を尽くした後であるし、条例そのものへの同意は9月の定例会で済んでいたもので、処理が早く済んだということで同日になった。
委員長 全委員 委員長 委員長	○ 報告第10号を承認してよいか。 ○ <承認> ○ 報告第10号を承認する。 ○ 以上で、公開議案の審議は終了する。

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名

平成27年2月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成27年2月17日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	15時07分	
	閉 会	15時25分	
3 出席委員	委 員 長	曾 田 佳 代 子	
	委 員	奥 津 晋	
	委 員	塩 田 澄 子	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	植 田 朋 哉	統括審議監（企画調整担当）	佐々木 辰 昭
審議監（学校教育担当）	天 野 和 弘	審議監（生涯学習担当）	山 口 啓 二
教育企画総務課長	長 瀬 尚 樹	指導課長	堀 井 博 司
指導課教育支援担当課長	山 崎 克 磨		
事務局（教育企画総務課課長代理）	赤 野 政 治		
5 議題及び結果			
第 3 号議案	岡山市問題行動等対策委員会委員の委嘱について		原案可決